

平成25年10月2日

佐賀新聞掲載～ひびの子育て～

園長 子育てエッセイ「ひとり親の子育て」

ひびの子育て

ひとり親の子育て

シングルマザー・シングルファザーは年々増加傾向にあり、現在全国では約140万世帯が「ひとり親家庭」といわれています。私自身も、5歳の頃父親を亡くし、ひとり親家庭で育ちました。ひとり親で育てているお父さん・お母さ



家族の肖像＝ばぶばぶフェスタ2012から

んは「ちゃんと子育てできるのだろうか」と不安になることもあるのではないのでしょうか。たぶん私の母もそうだったでしょう。ひとり親だからこそその苦労は、きっと数え切れない程あると思います。

でも、ひとり親で育てられた立場からいることは「子どもはその苦労をちゃんと見て育つ」という

ことです。子育ての正解なんて分からなくても、だたただ必死に頑張る親の姿を、子どもは敏感に感じ取っているものです。また、私の母は、父親のいなかった私に「たくさんの人と関わり、さまざまな経験を積む機会」を与えてくれました。そして、その中でたくさんの方が父親の代わりのように私に接してくれました。そこから多くのことを学びそれが今につながり財産となっています。

子どもたちは親に与えてもらう影響だけではなく、保育園・幼稚園の先生、学校の先生、その後に出会うすべての人から、さまざまな学びを吸収します。

ひとり親だからといって、悲観する必要は全くありません。1人で悩みを抱えることなく、たくさんの人との関わりをもって、前向きに明るく元気よく子育てを楽しんでいきましょう。（パパ記者・吉村直記＝おへそ保育園園長）

※過去記事は佐賀のブログハブサイト「saganPOST（サガンポスト、post@saga-s.co.jp）」に掲載。